

2025年3月期 第1四半期決算概要



日進工具株式会社

2024年7月31日
(証券コード6157)

目次

2025年3月期1Qの業績

P. 3	・・・	第1四半期決算の概要
P. 4	・・・	営業利益の増益要因
P. 5	・・・	損益計算書サマリー
P. 6	・・・	貸借対照表サマリー
P. 7	・・・	業績推移

2025年3月期の業績予想

P. 14	・・・	業績予想
P. 15	・・・	第1四半期における進捗状況
P. 16	・・・	配当予想

参考資料

P. 18	・・・	過去5年間の業績と主要データ推移
P. 19	・・・	投資指標
P. 20	・・・	株価推移とバリュエーション
P. 21	・・・	I R 情報サイトのご案内

2025年3月期 第1四半期の業績



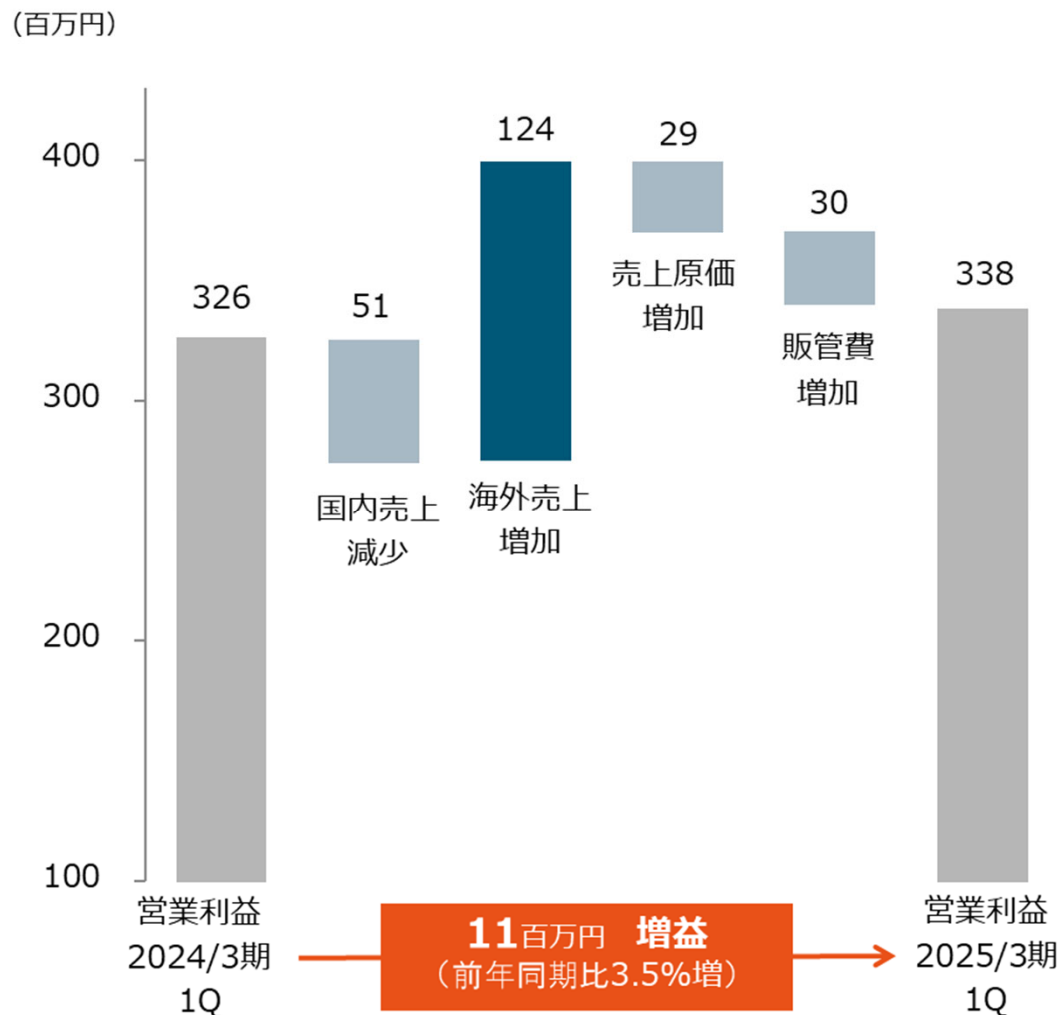
第1四半期決算の概要

前年同期に比べ若干増収・増益
進捗率は想定よりやや低め

(単位：百万円)	2024年3月期 1Q実績	2025年3月期 1Q実績	2025年3月期 上期予想	進捗率
売上高	2,204	2,276	4,670	48.8%
前年同期比	-6.4%	+3.3%	+5.7%	
営業利益	326	338	840	40.3%
前年同期比	-39.7%	+3.5%	+11.7%	
経常利益	332	339	840	40.4%
前年同期比	-38.6%	+2.2%	+9.2%	
四半期純利益	199	220	560	39.4%
前年同期比	-38.1%	+10.7%	+10.3%	

- 国内販売において、自動車関連は生産台数の持ち直しによる工具需要回復が期待されたものの、大きくは改善せず。半導体や電子部品・デバイス関連は在庫調整が継続し、本格的な需要回復とはならなかった。一方で、海外販売では、前年同期に不振だった中華圏・一部アジア向けが増加した。
- 当四半期の連結売上高は2,276百万円と、前年同期比3.3%の増加となった。
- 連結経常利益は339百万円と同2.2%の増加。売上高経常利益率は14.9%と同0.2ポイント低下。

営業利益の増益要因



- 売上高は国内が前年同期比51百万円、3.3%減少、海外は同124百万円、19.9%増加した。売上高全体では同72百万円、3.3%の増加となった。
- 材料費・労務費・経費が増加した一方、外注費が減少したこと等により、売上原価は同29百万円、2.8%の増加に止まった。
- 販管費は製品カタログの改訂費用等により販売費が同25.1%増加し、販管費全体では同30百万円、3.9%の増加となった。
- これらの結果、営業利益は同11百万円、3.5%増加し338百万円となり、売上高営業利益率は14.9%と0.1ポイント上昇した。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2024年3月期 1Q実績	2025年3月期 1Q実績	前年同期比 増減率
売上高	2,204	2,276	+3.3%
売上総利益	1,123	1,166	+3.8%
対売上高比率	51.0%	51.2%	
販管費	797	828	+3.9%
対売上高比率	36.2%	36.4%	
営業利益	326	338	+3.5%
対売上高比率	14.8%	14.9%	
経常利益	332	339	+2.2%
対売上高比率	15.1%	14.9%	
四半期純利益	199	220	+10.7%
対売上高比率	9.0%	9.7%	
設備投資額	109	33	-69.2%
減価償却費	149	147	-1.3%
従業員数(人)	354	365	+3.1%

- 売上高は2,276百万円と前年同期比3.3%の増加。国内の工具需要は大きく改善しなかった。一方で中華圏・一部アジア向けが前年同期より伸びた。
- 売上総利益は1,166百万円と同3.8%増加。売上総利益率は51.2%と同0.2ポイント上昇。
- 販管費は販売費等の増加等に伴い、同3.9%増加し、売上高販管費比率は36.4%と同0.2ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同3.5%増加の338百万円、売上高営業利益率は14.9%と同0.1ポイント上昇した。
- 設備投資額は、当四半期での新規設備導入が少なく33百万円と同69.2%の減少。減価償却費も同1.3%の減少となった。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2024年 3月期末	構成比	2025年 3月期1Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
I 流動資産	12,719	66.1%	12,506	66.2%	-1.7%
現金及び預金	8,893	46.2%	8,836	46.8%	-0.6%
受取手形及び売掛金	1,305	6.8%	1,258	6.7%	-3.6%
棚卸資産	2,381	12.4%	2,252	11.9%	-5.5%
II 固定資産	6,521	33.9%	6,380	33.8%	-2.2%
有形固定資産	5,361	27.9%	5,233	27.7%	-2.4%
無形固定資産	24	0.1%	23	0.1%	-3.8%
投資その他の資産	1,135	5.9%	1,122	5.9%	-1.2%
資産合計	19,241	100.0%	18,886	100.0%	-1.8%
(負債の部)					
I 流動負債	1,287	6.7%	994	5.3%	-22.7%
買掛金	173	0.9%	196	1.0%	+13.8%
II 固定負債	224	1.2%	224	1.2%	-
負債合計	1,512	7.9%	1,219	6.5%	-19.4%
(純資産の部)					
自己資本合計	17,525	91.1%	17,472	92.5%	-0.3%
純資産合計	17,729	92.1%	17,667	93.5%	-0.4%
負債・純資産合計	19,241	100.0%	18,886	100.0%	-1.8%

流動資産

法人税や賞与の支払等により現金及び預金が減少したこと等から前期末比1.7%減少。

固定資産

新規設備投資が少なかったことから減価償却費が上回り、同2.2%減少。

負債

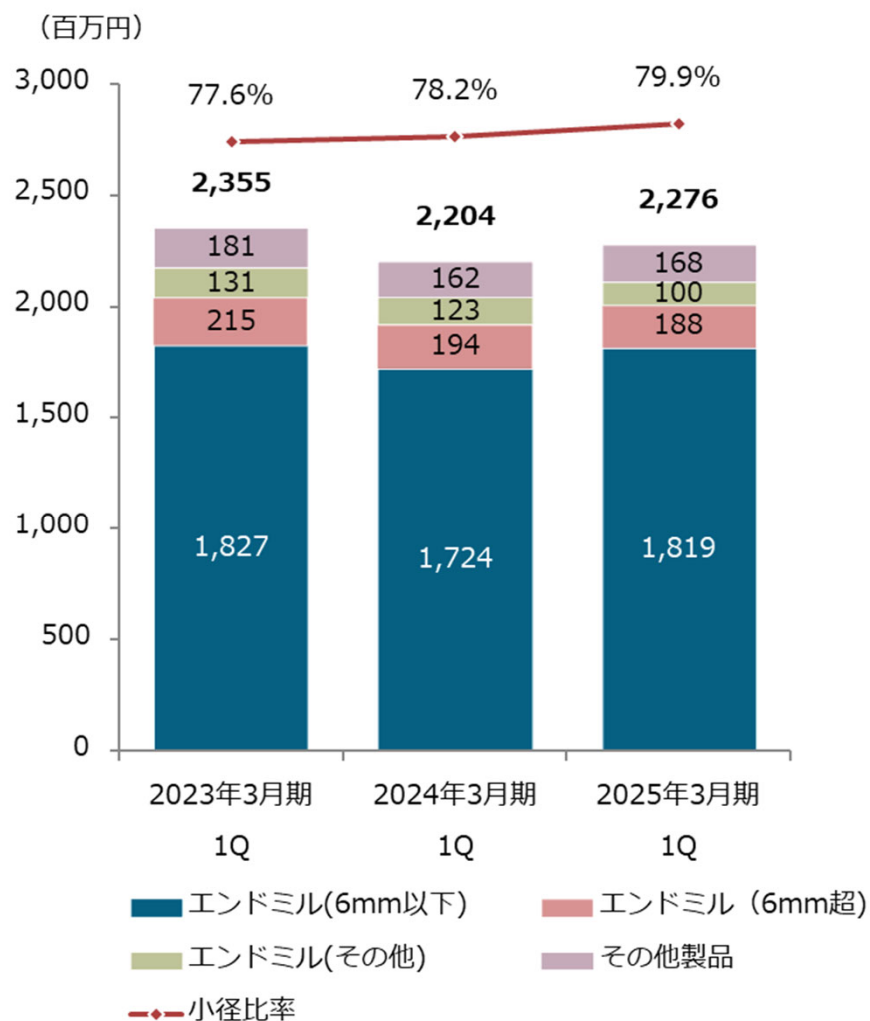
未払法人税等や賞与引当金の減少等により、同19.4%減少。

純資産

配当金の支払いによる利益剰余金の減少等から、同0.4%減少。負債の減少もあり自己資本比率は92.5%と同1.4ポイント上昇。

業績推移（売上高の推移①） 製品別

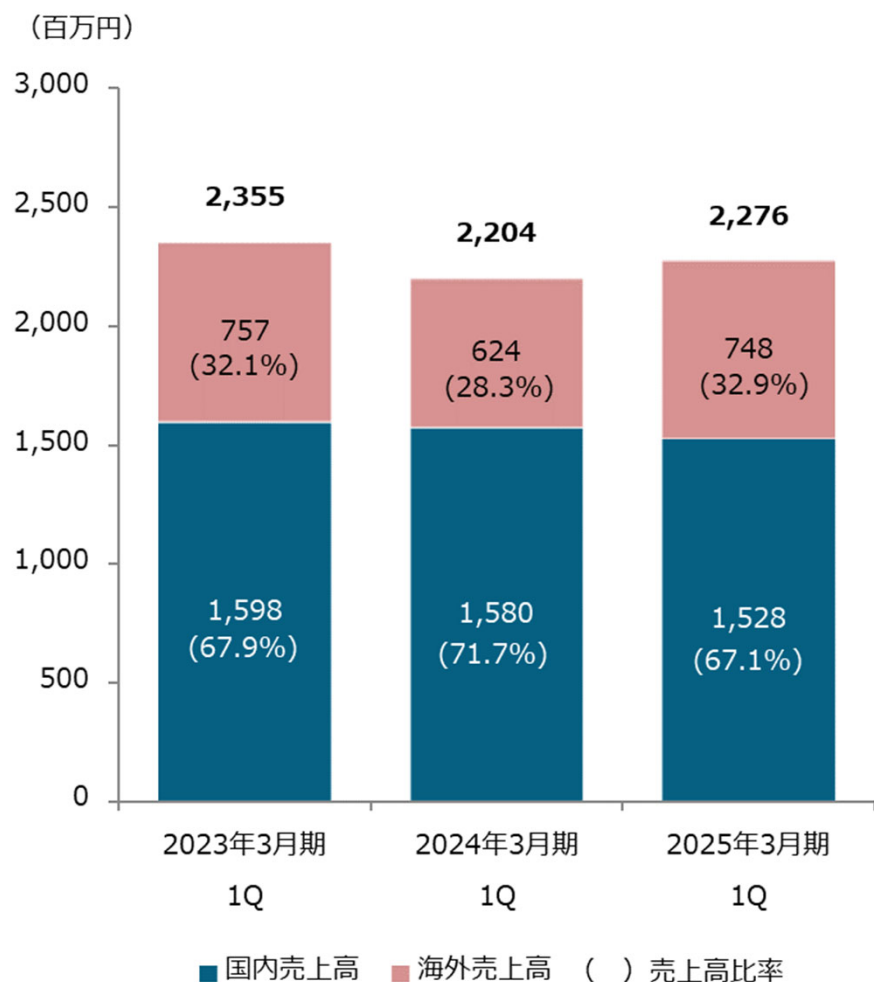
製品別売上高と小径比率の推移



- 国内では、自動車関連は昨年の認証不正問題の影響解消に伴い、生産台数持ち直しによる工具需要回復が期待されたが、大きくは改善せず。6月に大手メーカーで新たに発覚した認証不正問題の影響が今後懸念される。半導体や電子・デバイス関連は在庫調整が継続し、本格的な需要回復は顕在化しなかった。一方で、中華圏向けを中心に海外販売が回復し、売上高は2,276百万円と前年同期比3.3%増加した。
- 製品別では、主力のエンドミル（6mm以下）が同5.5%の増加、エンドミル（6mm超）は同3.3%減少、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同18.4%減少し、工具ケース等のその他製品は、同3.7%増加した。小径比率は79.9%と同1.7ポイント上昇した。

業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

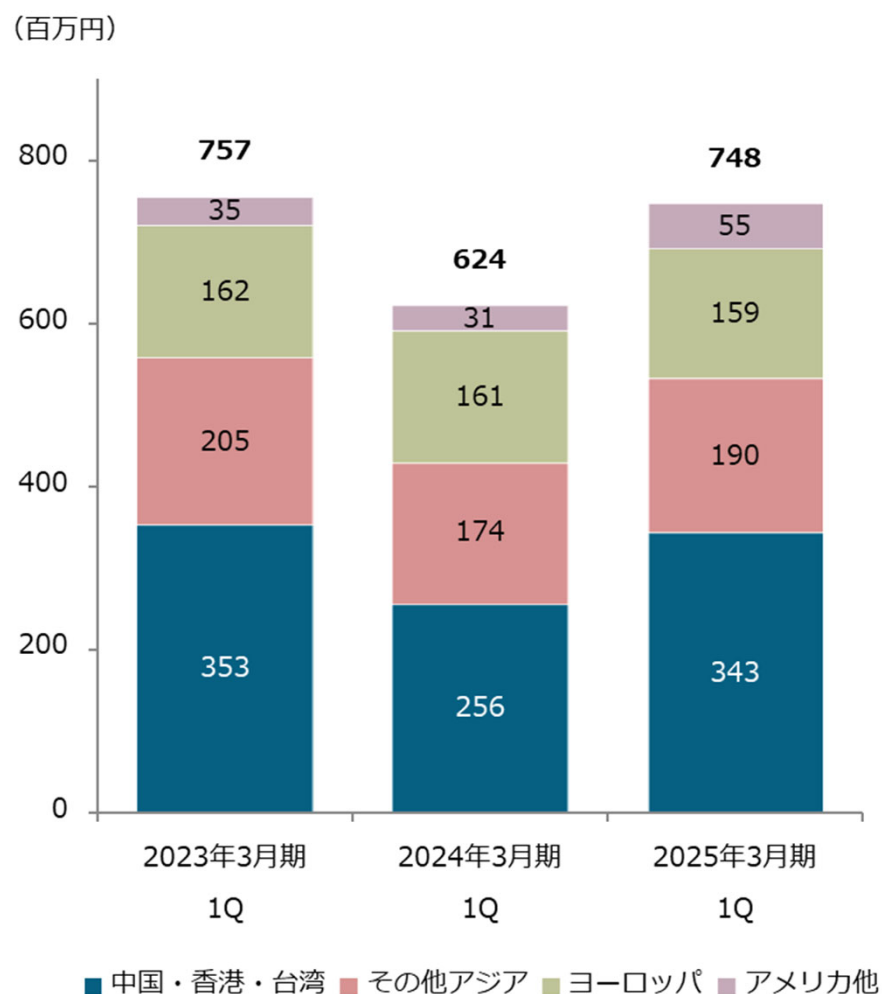
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期比51百万円、3.3%減少し1,528百万円となった。海外売上高は同124百万円、19.9%増加し748百万円であった。
- 海外売上高は、前年同期に大きく低迷した中華圏で増加した。日進工具香港の連結にからみ、当四半期の中国向けの数字は1-3月分。
- 海外売上高の増加により海外売上高比率は前年同期比4.6ポイント上昇し32.9%。

業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

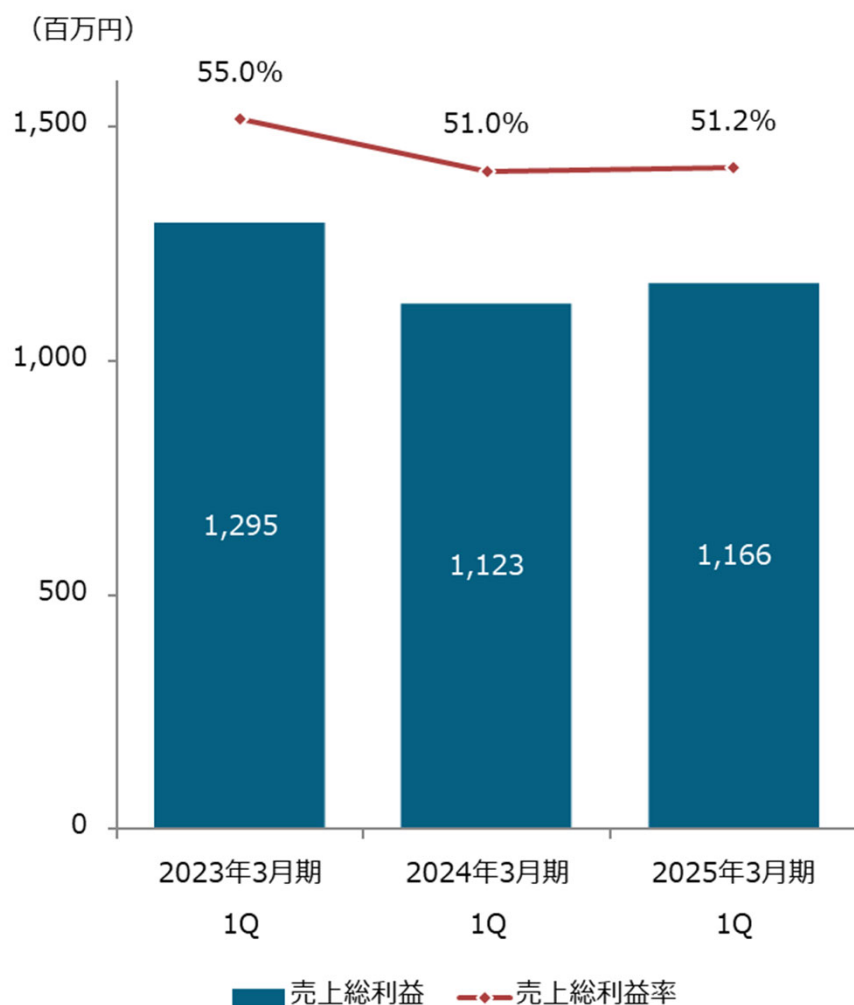
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比33.9%増加し343百万円。日進工具香港の連結にからみ当四半期の中国向けの数字は1-3月分。前年同期に不振となっていたスマートフォン関連の需要が若干回復。さらに、自動車ヘッドライト関連での需要増により売上が伸びた。市況は大きく好転していないが、前年同期よりも改善した。
- その他アジアは同9.1%増加の190百万円。東南アジアでは中国EV車に押され、ICE車（エンジン車）が減少し、低調に推移。インドは内需拡大により好調となっている。
- ヨーロッパは引き続き自動車業界が低調となっており、同1.5%減少の159百万円。
- アメリカ他は同76.0%増加の55百万円。NS TOOL USAの連結にからみアメリカ・メキシコ向けの数字は1-3月分。アメリカは医療関連が堅調に推移した。

業績推移（売上総利益の推移）

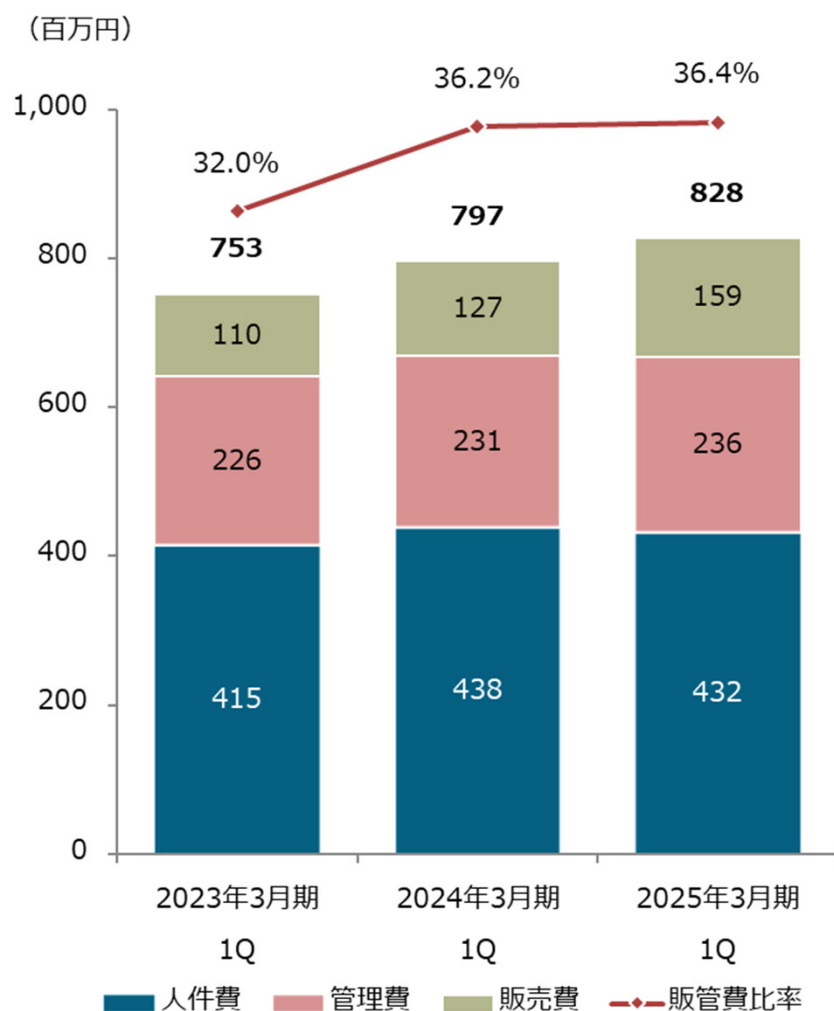
売上総利益と売上総利益率の推移



- 材料費は前年同期比8.4%増加、労務費は人員の増加や賃上げにより同4.2%増加、製造経費は製造電力費や製造修繕費がやや増加し同3.7%増加。一方で、外注加工費は子会社が内製化を推進したこと等により同15.6%減少し、当期製品製造原価は減少した。
- 製造原価は減少したが、売上増加による一部製品の在庫取り崩しにより、売上原価は同2.8%の増加となった。
- 売上総利益は同3.8%増加し1,166百万円、売上総利益率は51.2%と同0.2ポイント上昇した。

業績推移（販管費の推移）

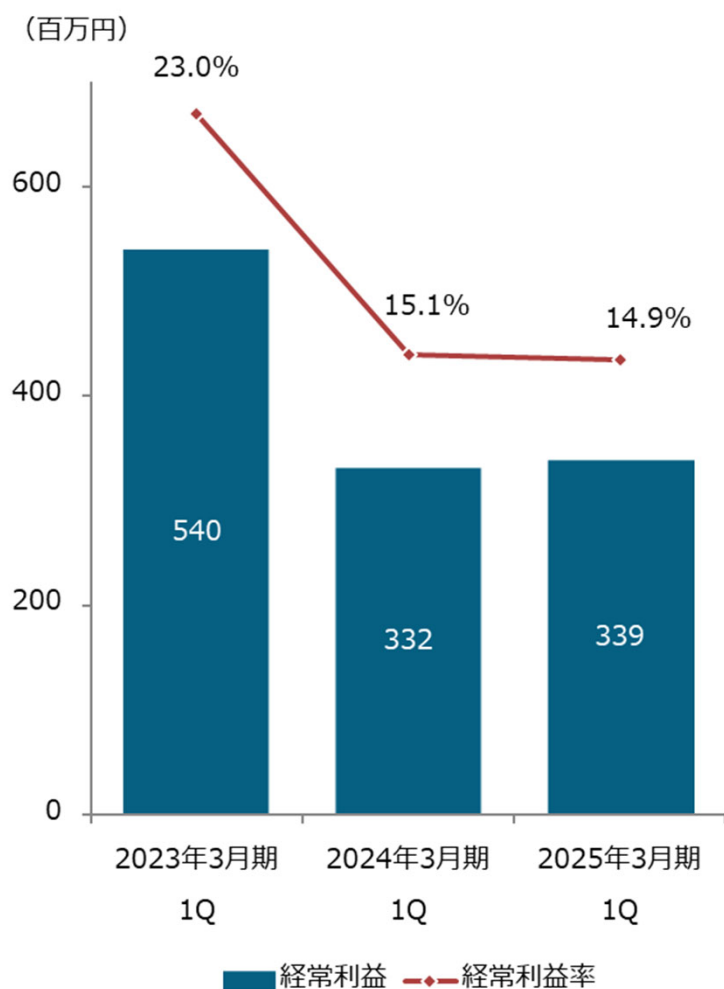
販管費と販管費比率の推移



- 昨年同様4月と6月に「INTERMOLD」に出展し、展示会費は前期と同水準となった。一方で、製品カタログ改訂に伴い、広告宣伝費が増加したことにより、販売費は前年同期比25.1%増加の159百万円。
- 人件費は、賞与引当金繰入額の減少等から同1.4%減少の432百万円。
- 販管費全体では同3.9%増加の828百万円となり、売上高販管費比率は36.4%と同0.2ポイント上昇した。

業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 売上高が増加したことにより、営業利益は前年同期比3.5%増加、338百万円となった。
- 営業外損益は、作業くず売却益等により営業外収益が1百万円上回り、経常利益は339百万円、前年同期比2.2%の増加。
- 売上高経常利益率は14.9%と前年同期に比べ0.2ポイント低下した。

2025年3月期の業績予想



業績予想

(単位：百万円)	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	9,040	9,430	+4.3%
営業利益	1,867	1,730	-7.4%
経常利益	1,908	1,740	-8.8%
当期純利益	1,320	1,190	-9.9%
設備投資額	563	454	-19.3%
減価償却費	627	691	+10.2%
EPS (円)	53.03	47.89	-9.7%
1株当たり配当金 (円)	27.50	30.00	+9.1%

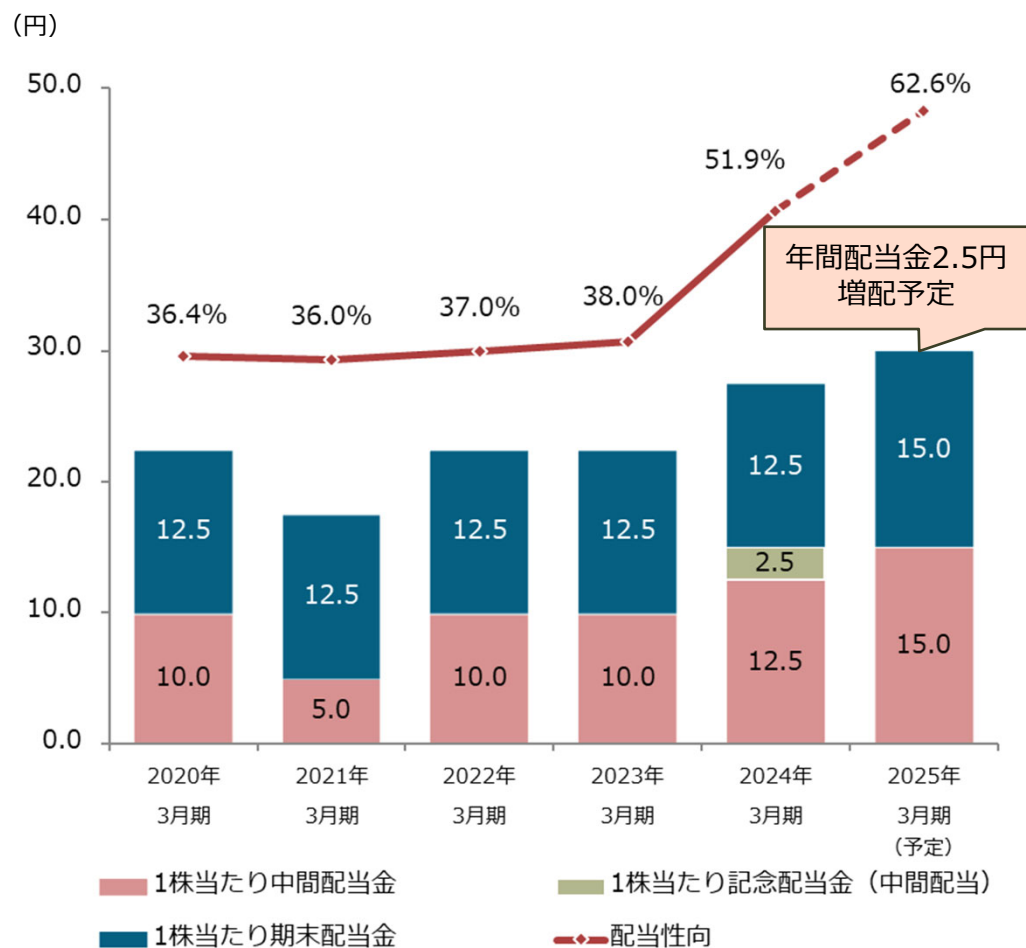
- 自動車関連は供給制約の解消により生産台数の回復が本格化すると見込まれ、新規モデル開発による金型や部品向け工具需要の増加が期待される。半導体・電子部品関連は完成品の需要減退による在庫調整が一巡し、徐々に回復してゆくものと予想される。
- 市況の回復や新製品の発売等から、売上は若干増加を見込むものの、電力費や新規設備稼働による減価償却費、賃上げによる人件費の上昇により、営業利益、経常利益ともに減益を予想。
- 設備投資は、主に継続的な生産設備の更新等を実施予定。設備投資額は前期比19.3%減の予定。
- 1株当たり配当金は、中間配当金15.0円、期末配当金15.0円の年間配当金30.0円と増配予定。

第1四半期における進捗状況

(単位：百万円)	2025年3月期				
	1Q実績	上期予想	進捗率	通期予想	進捗率
売上高	2,276	4,670	48.8%	9,430	24.1%
前年同期比	+3.3%	+5.7%		+4.3%	
営業利益	338	840	40.3%	1,730	19.6%
前年同期比	+3.5%	+11.7%		-7.4%	
経常利益	339	840	40.4%	1,740	19.5%
前年同期比	+2.2%	+9.2%		-8.8%	
当期純利益	220	560	39.4%	1,190	18.5%
前年同期比	+10.7%	+10.3%		-9.9%	

配当予想（株主還元について）

1株当たり配当金と配当性向の推移



安定性・継続性に配慮しつつ

業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2024年3月期の1株当たり年間配当金は27.5円。
創業70周年目を迎えるにあたり2.5円の記念配当を実施
中間配当金15.0円（普通配当12.5円、記念配当2.5円）
期末配当金12.5円
業績に対する配当性向は51.9%
- 2025年3月期の1株当たり年間配当金は、手元流動性が増加しており、株主還元強化のため30.0円に増配予定。
中間配当金15.0円
期末配当金15.0円
業績予想に対する配当性向は62.6%
- 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、
1単元（100株）以上を3年以上保有（※）されている
株主様を対象にオリジナルクオカード2,000円分を贈呈。

※3年以上保有とは、株主名簿基準日（3月31日及び9月30日）の株主名簿に7回以上連続して、同一株主番号で100株以上の保有記録が記載または記録されることをいいます

參考資料

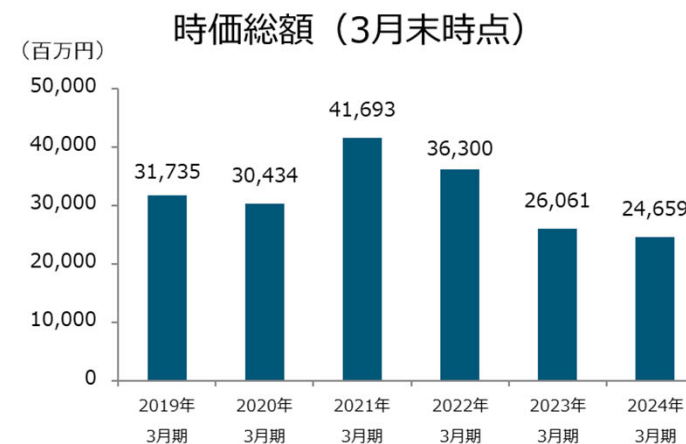
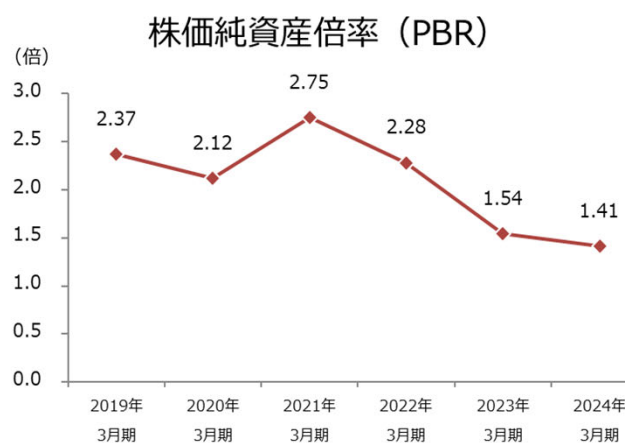
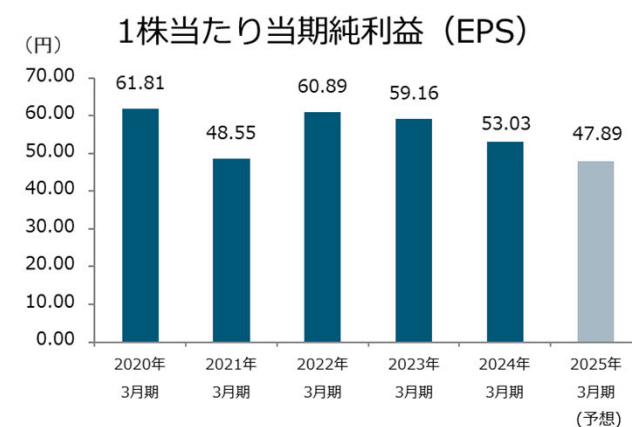
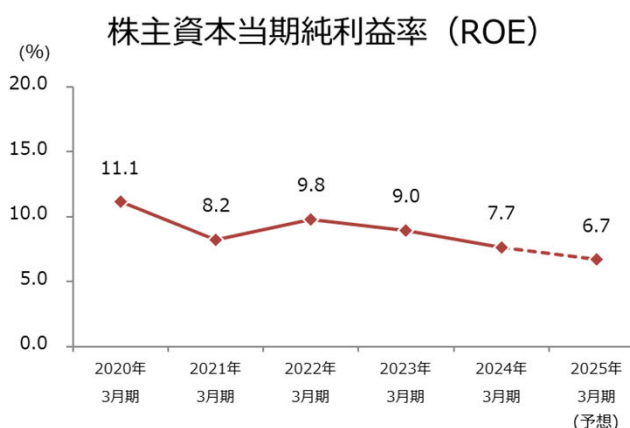
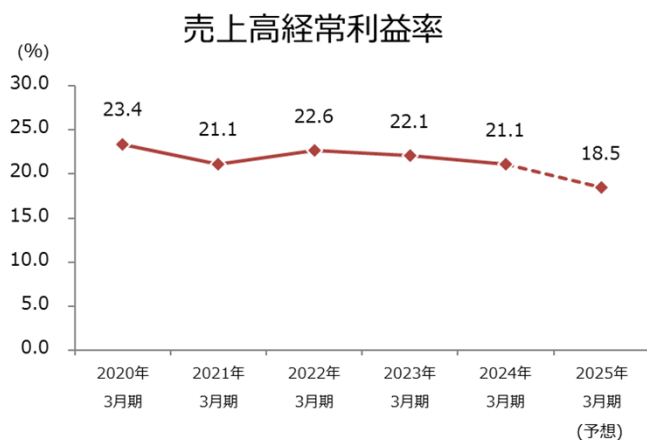


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期実績
売上高	9,531	8,100	9,524	9,656	9,040
営業利益	2,219	1,512	2,111	2,108	1,867
営業利益率	23.3%	18.7%	22.2%	21.8%	20.7%
経常利益	2,231	1,712	2,156	2,131	1,908
経常利益率	23.4%	21.1%	22.6%	22.1%	21.1%
当期純利益	1,545	1,214	1,522	1,475	1,320
当期純利益率	16.2%	15.0%	16.0%	15.3%	14.6%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	14,498	15,326	16,165	17,200	17,729
総資産額	16,017	16,936	17,874	18,857	19,241
自己資本比率	89.7%	89.4%	89.2%	90.1%	91.1%
設備投資額	1,755	462	659	686	563
減価償却費	698	707	692	669	627
1株当たり配当金（円）	22.50	17.50	22.50	22.50	27.50
従業員数（人）	338	339	348	352	350

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

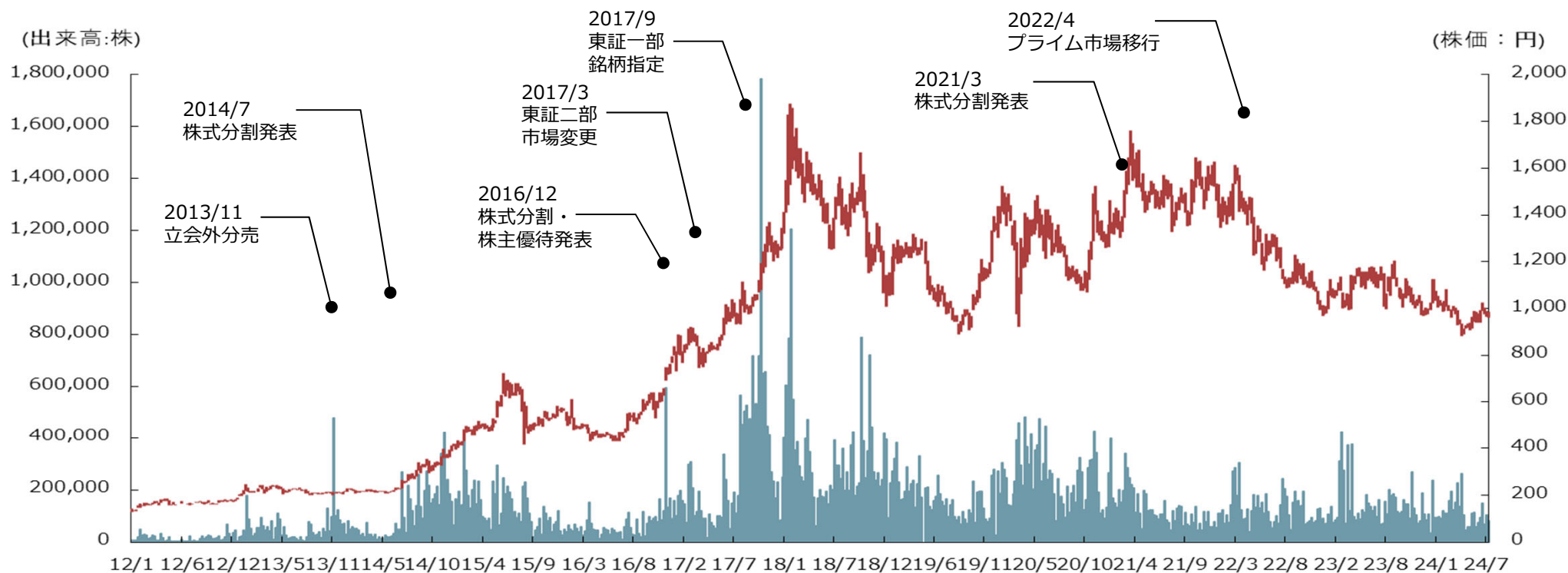
投資指標



※ 2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2024年7月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2024年7月26日現在）

売買単位	100株
時価総額	230億円
ROE (24/3期実績)	7.7%

単元株価格	9万2,200円
PER (25/3期予想)	19.25
PBR (24/3期実績)	1.31倍

IR情報サイト／ニュースメール登録のご案内

The screenshot shows the NS TOOL IR information website. The top navigation bar includes '製品情報', '事例・技術情報', '会社情報', '採用情報', and 'IR情報' (highlighted in orange). The main content area is titled 'Investor Relations' and 'IR情報', with the stock code 'プライム市場 コード: 6157'. Below this, there are two main sections: 'IRトピックス' and 'IRニュース'. The 'IRトピックス' section lists recent news items with dates and PDF links, such as '第63回定時株主総会議決権行使結果[PDF] (106KB)' and '第63回定時株主総会決議ご通知[PDF] (113KB)'. The 'IRニュース' section lists news items with dates and PDF links, such as '2024年3月期 有価証券報告書[PDF] (985KB)' and '譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に関するお知らせ[PDF] (117KB)'. On the right side, there is a sidebar menu with items like 'IR情報', 'IR情報トップ', 'トップメッセージ', '個人投資家の皆様へ', 'IRトピックス・IRニュース', 'IRカレンダー', '+ 経営方針・体制・コーポレート・ガバナンス', '+ 事業戦略', '+ 業績・財務情報', '+ IRライブラリー', '+ イベント', '+ 株式情報', 'よくあるご質問', 'IRサイトの使い方', 'IR情報サイトマップ', and 'IRニュースメール登録' (highlighted in orange).

IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>



当社の適時開示情報・IR情報をタイムリーに受け取ることができます。

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼管理部長	戸田	覚
管理部	経理課長	佐原	大樹
管理部	I R担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135

FAX : 03-6423-1186

E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。